



ケーススタディ

Apollo Communications 社はジェムアルト Sentinel で知的財産を保護し、ソフトウェア ライセンシングを強化

Apollo Communications 社は石油ガス業界向け電気通信と工業モニタリング プロセス ソリューションの大手プロバイダで、製品開発に National Instruments 社の LabVIEW プラットフォームを使用しています。Apollo Communications 社は初めから、顧客、ソフトウェア ライセンス、および特定のプロジェクトの管理に自社製システムを使用していましたが、知的財産を保護し、ライセンス強化の必要性も認識していました。メキシコ シティで開催された National Instruments Day に参加した際、同社はジェムアルト Sentinel LDK が LabVIEW ツール ネットワークの一部であることを知ります。同社は現在、SCADA-Acom ソフトウェアの保護とライセンス供与のためにジェムアルト Sentinel を配備しており、成果が現れています。

背景

Apollo Communications 社は、競争の激しい石油ガス業界向け電気通信と工業モニタリング プロセス ソリューションの大手プロバイダです。Apollo 社は従来、顧客の要望に応えるために顧客それぞれの必要事項を学び、それに応じて各顧客に最適なソリューションを開発していました。開発するプロジェクトが非常に限られた顧客向けのもだったため、同社は保護とライセンス強化の必要性は感じていませんでした。代わりに、顧客、ソフトウェア、および特定のプロジェクトの追跡に自社製システムを使用していました。

ビジネス上の課題

ところが、より広い対象に向けて新製品をリリースし始めると、同社は多くの課題に直面しました。「ライセンスをどのように管理すればよいか分かりませんでした。ライセンスを無効化すると、当社のソフトウェアを1つのマシンから別のマシンに移動することができました。またライセンスを無効にした場合、悪意のある人間が当社の API にアクセスすることもできました。なぜなら、当社はそのようなプロジェクト

課題

- 以下から保護します:
- > 知的財産の改ざんと盗難
 - > 不正コピーと使用

ソリューション

- > Sentinel LDK
- > Sentinel HL Max-Micro
- > Sentinel EMS

結果

- > 競争力の維持: ソースコードが安全に保護され、改ざんを防止
- > 収益の確保: 不正使用および配布を防ぐことで、収益を確保
- > ビジネスモデルの拡大: 柔軟性の高いライセンス オプションで、ビジネスモデルを拡大
- > 費用削減: 手作業の運用を作業を減らすことで、費用を削減

に対する不正コピーを考慮していなかったからです」と Apollo Communication 社の自動化サブマネージャー Jose Daniel Corcega Ramos 氏は語っています。

例えば、同社の SCADA-Acom ソフトウェアは Windows オペレーティングシステムを実行するあらゆるデバイスにインストールできます。このソフトウェアは重要なプロセスをモニタリングし、ウェブを通じてそのデータを表示します。このアプリケーションの目的は、メキシコの国有石油会社 Petroleos Mexicanos 社 (Pemex という名前がよく知られています) の給油所の顧客からのデータの重要な処理をモニタリングし、管理することです。「当社には、ソフトウェア保護、ライセンスング、および管理が欠けていました。そのため、メキシコシティでの National Instruments Day イベントでのミーティング後、ジェムアルト ソフトウェア マネタイゼーションチームのコンサルタントから話を聞くことにしました」と Daniel Corcega 氏は語りました。

ソリューション

Apollo Communications 社はジェムアルトのチームと会い、LabVIEW 用の Sentinel ライセンス開発キット (LDK) の機能について学び、それが LabVIEW ツール ネットワークで入手できることを確認できました。ミーティング後、同社はソースコード内の企業秘密を保護するため、そしてライセンスングを作成、強化、管理するために、Sentinel を使用する価値があると確信しました。「.Net、C#、Java のような従来のアプリケーションの保護とライセンスングのためにドングルなどのツールが存在することを知っていました。しかし、Sentinel LDK が LabVIEW ツール ネットワークの一部だと分かった時、非常に素晴らしいことだと思いました。これにより、保護とライセンスングシステムの統合および実装に必要な多くの時間を節約できることでしょう」と Daniel Corcega 氏は説明しています。

Sentinel とその強力なツールの使用についてのベストプラクティスを取り上げたトレーニングセッションの後、同社は Sentinel LDK と Sentinel HL ハードウェア キーを使用して、知的財産 (IP) を複製から保護し、LabVIEW で開発した製品のライセンスングを強化しています。

「特定のデータを追加するために大きなメモリを必要とするため、Sentinel HL Max-Micro キーを使用しています。そしてこのキーは、このモデルのキーの中でも当社の要件に最適な選択肢であることが分かりました」と Daniel Corcega 氏は述べています。

同社はさらに、Sentinel EMS を使用してライセンスングとエンタイトルメントを管理しています。「顧客のニーズに応じて、当社はさまざまな種類のアプリケーションを開発します。当社の API と知的財産を保護する必要があるため、現在はそれらすべてのアプリケーションを保護しています。」

「Sentinel を使用することで、不正コピーと知的財産の複製を防ぎながら、当社のアプリケーションのライセンスングをようやく制御できるようになりました。また、レンタル、ペイパーユース (従量課金)、変動制などのさまざまな種類のビジネスモデルを提供できるようになりました」

結果

Sentinel LDK と NI LabVIEW ソフトウェアの統合により、Apollo Communications 社はソースコード内の知的財産を保護し、同時に権限のない使用や配布による危害からも保護することができます。これにより、エンドユーザーの透明性を高め、ライセンスングサポート費用を削減しながら、収益性を最大化しています。Sentinel を配備することで、Apollo Communications 社はライセンスングに関連した手作業の運用作業を低減できるようになりました。その結果、新しい製品と機能をより簡単に導入しています。

Daniel Corcega 氏は次のように述べています。「Sentinel を使用することで、不正コピーと知的財産の複製を防ぎながら、当社のアプリケーションのライセンスングをようやく制御できるようになりました。また、レンタル、ペイパーユース (従量課金)、変動制などのさまざまな種類のビジネスモデルを提供できるようになりました」

Apollo Communications, S.A. de C.V. 社について

Apollo Communications 社は、電気通信と工業モニタリングプロセス分野の顧客のニーズに応えるソリューションを提供するために、Química Apollo 社の子会社として 2009 年に設立されました。

Apollocom 社は、有線と無線の両ネットワーク プランニングの国内と海外の専門家のサポートにより、複雑な通信ネットワークを定義し、実装しています。こうして、顧客それぞれのニーズに対して特別に定義された最善のソリューションを顧客に提供しています。詳しくは、次のウェブサイトをご覧ください：www.apollocom.com.mx/en/home

ジェムアルト Sentinel ソフトウェア マネタイゼーションについて

SafeNet の買収を通じて、ジェムアルトは、オンプレミス、組み込み、クラウドベースのソフトウェアベンダー向けのソフトウェア ライセンスングおよびエンタイトルメント管理ソリューション市場をリードするプロバイダーです。ジェムアルト Sentinel は、セキュリティで保護され、柔軟性があり、将来性の高いソフトウェア マネタイゼーション ソリューションとして、ソフトウェア業界で最も信頼されているブランドです。詳しくは、当社ウェブサイトをご覧ください：

www.gemalto.com/japan/software-monetization

お問い合わせ: すべての事業所所在地と問い合わせ先情報については、当社のウェブサイトをご覧ください：

www.gemalto.com/japan/software-monetization

フォローする: licensing.live.com

 **GEMALTO.COM**

gemalto
security to be free